

2023年1月10日

H S B C アセットマネジメント株式会社、利回り年約1%を目指すファンド^{注1)}
「H S B C グローバル・ターゲット利回り債券ファンド 2023-02 (限定追加型)」を
個人投資家向けに設定

H S B C アセットマネジメント株式会社は、満期固定型ファンドの第五弾となる「H S B C グローバル・ターゲット利回り債券ファンド 2023-02 (限定追加型) (愛称: グロタ 2023-02)」(以下、「当ファンド」と言います。)を2月20日に個人投資家向けに設定することを発表しました。1月10日から株式会社横浜銀行にて取扱いを開始します。

当ファンドは、「期間が決まっているもので資金を運用したい」、「インフレの影響を和らげたい」、「少しでもお金を増やしたい」、「大きな変動を避け^{注2)}、安全なものがいい」などのお客様のご要望に対応したファンドです。投資対象は、世界各国(日本を含む)の企業等が発行する債券で、信託期間は約5年です。外貨建資産については、期間固定の為替ヘッジを行うことにより、為替変動の影響を回避し、償還までのヘッジコストが安定することを目指します。当初申込期間は、1月10日から2月17日までとなり、2月20日に設定します。設定日である2月20日から2月28日まで継続申込期間となり、その間は時価でのお申込みが可能となります。

当ファンドは信託期間が約5年で、利回り年約1%(円ベース、信託報酬(年0.803%)控除後)^{注1)}を目指します。投資対象となる債券は、約5年以内に満期を迎える債券となります。そのため、投資する債券は、当ファンドの信託期間内に償還されることとなります。債券は、一般的に額面で発行され、定期的に利息が支払われ、満期が近づくにつれて価格の変動が小さくなり、満期時は額面に戻る特性があります^{注3)}。このような債券の特性を生かし、投資する債券は原則として満期まで保有する運用を目指します。

このようなファンドは海外での需要も高まっており、H S B C アセットマネジメントでは同種のファンドの本数は97本、受託運用資産総額は約15兆円に上り、直近5年間で約1.6兆円増加しています^{注4)}。

H S B C アセットマネジメント株式会社は、今後もお客様のご要望に応じた投資信託やサービスをご提供して参ります。

注1: 年約1%の利回りをお約束するものではありません。当ファンドのポートフォリオにおける利回り(為替ヘッジコストおよび信託報酬控除後)のことであり、毎年約1%の投資収益が得られるものではありません。その他諸費用や取引にかかる手数料、その他の費用等は考慮しておりません。上記の利回り水準は当資料作成時点での市場環境等に基づいて想定した水準です。実際の当ファンドのポートフォリオでは、ポートフォリオ構築時の市場環境等により上記の利回り水準が変更される場合があり、上記水準に維持されることを保証するものではありません。当ファンドは投資信託であり、基準価額が変動し、投資者の投資元本を割り込むことがあります。

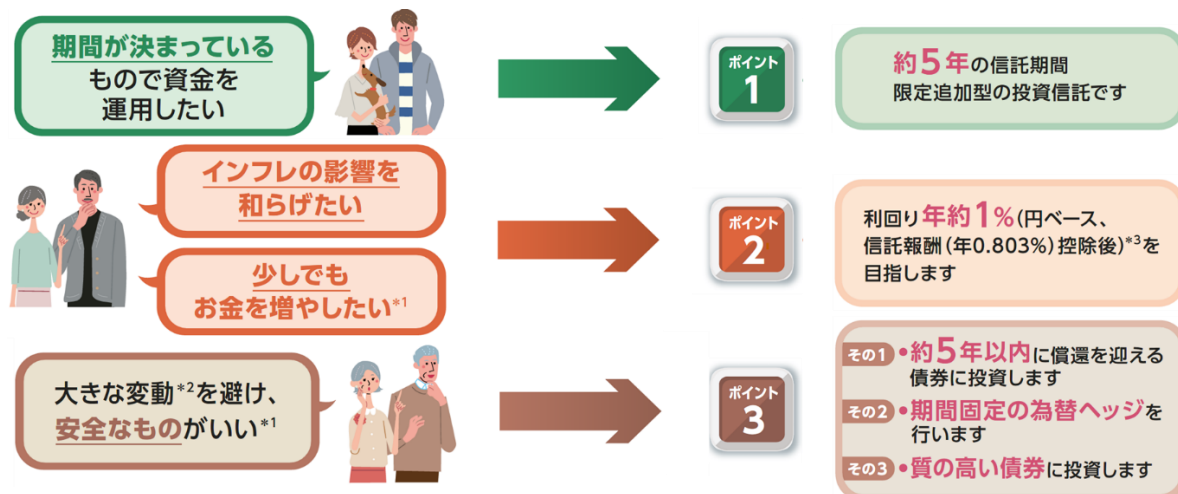
注2: ここでは金利および為替変動リスクを想定しています。それ以外のリスクにつきましては、後掲の「ファンドの主なリスク」をご参照ください。

注3: 債務不履行となった場合を除きます。

注4: 受託運用資産総額はバイ・アンド・メンテナンス型の運用手法による設定累計額。1米ドル=148.635円(2022年10月末現在)で換算

次頁に続く

ファンドの特色



*1 当ファンドは元本保証ではございません。

*2 ここでは金利および為替変動リスクを想定しています。それ以外のリスクにつきましては、後掲の「ファンドの主なリスク」をご参照ください。

*3 当ファンドのポートフォリオにおける利回り(為替ヘッジコストおよび信託報酬控除後)のことであり、毎年約1%の投資収益が得られるものではありません。その他諸費用や取引にかかる手数料、その他の費用等は考慮しておりません。上記の利回り水準は当資料作成時点での市場環境等に基づいて想定した水準です。実際の当ファンドのポートフォリオでは、ポートフォリオ構築時の市場環境等により上記の利回り水準が変更される場合があります、上記水準に維持されることを保証するものではありません。

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

ポイント1 約5年の信託期間

- 信託期間約5年の限定追加型の投資信託です。
- 信託期間は、2023年2月20日～2028年4月14日までです。
- 中途解約の場合には、信託財産留保額がかかります。
- 償還まで保有の場合には、信託財産留保額はかかりません。



市場動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

ポイント
2

利回り年約1% (円ベース、信託報酬(年0.803%)控除後)を目指します

- 世界各国 (日本を含む) の企業等が発行する債券に投資を行い、利子収入の獲得を目指します。

当ファンドのモデルポートフォリオ*1の特性値

平均残存期間	5.02年
平均最終利回り	年5.68%
ご参考	
想定為替ヘッジコスト*2 (米ドル円、5年)	年3.63%
信託報酬	年0.803%*3
実質の平均最終利回り (円ベース)	年1.25%*4

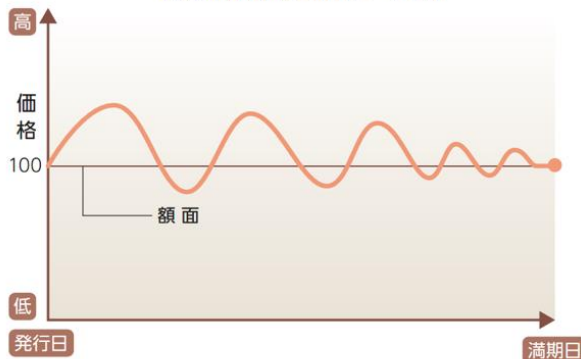
- *1 2022年12月5日時点での市場環境等に基づいて作成したモデルポートフォリオです。なお、通貨別比率は米ドル100%です。
 *2 2022年12月5日時点の水準であり、実際の為替ヘッジコストは市場環境等により変動します。
 *3 さらにその他費用等がかかります。このため、費用総額控除後の平均最終利回りは上記の水準を下回ります。
 詳しくは後掲の「ファンドの費用」をご参照ください。
 *4 実際のポートフォリオの組入債券の償還時期によっては上記の水準を下回ることがあります。
 ※当ファンドのモデルポートフォリオはあくまで参考情報の提供を目的としたものであり、実際のポートフォリオとは異なります。
 出所：HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インク、リフィニティブのデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

ポイント
3

その1 約5年以内 に償還を迎える債券に投資します

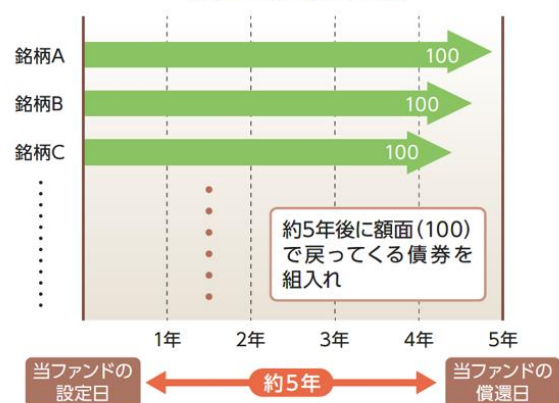
- 債券は満期まで保有することで額面で償還され、投資元本が返済されます*。
 当ファンドは信託期間 (約5年) 以内に満期を迎える債券に投資を行い、原則として満期まで保有する運用を目指します。

【債券価格の動きのイメージ図】



*債務不履行になった場合、額面を上回る価格で購入した場合を除きます。
 ※上記はイメージ図であり、実際の運用成果を示唆するものではありません。

【当ファンドの構成銘柄別残存期間のイメージ図、(ポートフォリオ構築時)】



データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

市場動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

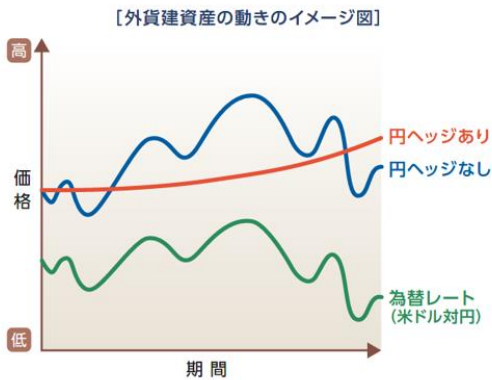
ポイント
3 その2

期間固定の為替ヘッジ*1を行います

- 期間固定の為替ヘッジを行うことにより、為替変動の影響が回避され、償還までのヘッジコストが安定することを目指します。

為替ヘッジのメリット

- 為替の変動を抑えることができます。



期間固定の為替ヘッジ*2のメリット

- ヘッジコストの上昇に伴う投資リターンの低下を回避することが期待されます。



*1 為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクおよび為替ヘッジコストの変動を完全に排除できるものではありません。
*2 明示的に示すために、通常の短期間為替ヘッジではなく長期間で為替ヘッジを行うことをここでは指します。
※上記はイメージ図であり、実際の運用成果を示唆するものではありません。

ポイント
3 その3

質の高い債券に投資します

- 信用力の高い債券を中心に組成することでデフォルトリスクの低減を目指します。
 - ・ ファンド全体の平均格付を投資適格 (BBB-以上) とすることを目指します。
 - ・ 投資を行う債券については原則として購入時においてBB格 (BB-) 以上とします。(格付がB+以下の債券ではデフォルト率が高くなります。)

[モデルポートフォリオの格付別構成比]

	AAA	AA+	AA	AA-	A+	A	A-	BBB+	BBB	BBB-	BB+	BB	BB-	B+	B	B-	CCC
モデルポートフォリオ構成比 (%)	0.5		1.0	4.5	5.5	9.0	9.8	15.8	12.8	11.3	12.1	12.4	5.5				
	投資適格										投機的						

[格付の定義]	信用力	最も高い	極めて高い	高い	十分	当面問題なし	問題あり	重大な問題あり
	要素など	多くの優れた要素がある	優れた要素がある	部分的に優れた要素がある	将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある	将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある	絶えず注意すべき要素がある	債務不履行に陥る懸念が強い

※上記の格付別累積デフォルト率は5年間継続して保有した場合の累積であり、年率ではありません。モデルポートフォリオの格付別構成比は2022年12月5日時点のものです。表記は格付機関ごとに異なります。各銘柄の格付は、S&Pグローバルレーティング、ムーディーズ、フィッチの中から最高格付を採用しています。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。出所:ムーディーズ・インベスターズ・サービス、HSBCグローバル・アセットマネジメント(米圏)インクとのデータをもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成

データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。市場動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

市場動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

注記：

HSBCグループ

HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングス plcは英国・ロンドンに本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる63の国と地域でお客さまにサービスを提供し、2兆9,920億米ドル（2022年9月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

HSBCアセットマネジメント

HSBCアセットマネジメント株式会社は、HSBCグループの資産運用部門として個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBCアセットマネジメントに属しています。HSBCアセットマネジメントは23の国と地域に拠点をもち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。HSBCアセットマネジメント全体の運用資産は約5,740億米ドル（2022年9月末現在）です。

関連するファンドに関わる事項

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある有価証券を投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。当ファンドの主なリスクには、①金利変動リスク、②信用リスク、③為替変動リスク、④流動性リスク、⑤カントリーリスク等があります。ただし、基準価額の変動要因は、これらに限定されるものではありません。

ファンドの費用

[詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。]

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入金額に、 2.20% (税抜2.00%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.30% の率を乗じて得た額(換金時)	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	年0.803% (税抜年0.73%)	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
(委託会社)	税抜年0.35%	ファンドの運用等の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販売会社)	税抜年0.35%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	税抜年0.03%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
その他費用・ 手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料/保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用/信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用/印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用/監査法人等に支払う監査報酬等(純資産総額に対し上限年0.20%として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。) ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

<当資料のお取扱いにおけるご注意事項>

当資料は、HSBCアセットマネジメント株式会社（以下、当社）が情報提供を行う目的で作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成していますが、その正確性を保証するものではありません。また、当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

HSBCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第308号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会